

令和5年度大阪府がん対策推進委員会第1回小児・AYA世代のがん対策部会（概要）

1. 日 時：令和5年6月30日（金）15時00分～17時00分
2. 場 所：国民會館大阪城ビル 12階 小ホール
3. 議 事：
 - （1）第3期大阪府がん対策推進計画 最終評価（案）について
 - （2）第4期大阪府がん対策推進計画（素案）について
 - （3）大阪府小児がん拠点病院における指定要件の改定について
4. 委員からの意見要旨
 - （1）第3期大阪府がん対策推進計画 最終評価（案）について

【意見要旨】

○連携体制という文言が多用されているが、より具体的にその内容を書けるのであれば、書くべきではないか。
 - （2）第4期大阪府がん対策推進計画（素案）について

【意見要旨】

○新たなモニタリング指標の設定について

 - ・AYA世代のがんサバイバーシップ支援に関するモニタリング指標がないので、検討してほしい。
 - ・AYA世代のがん医療の充実として、AYA世代支援チームの設置数や、AYA世代のがん患者の医療と支援の向上に取り組む団体が主催するAYA世代がんサポート研修会を受けた人数を新たに設定してはどうか。
 - ・妊よう性温存に関して、がん・生殖医療ネットワークに加入しているがん治療側の医療機関数、妊よう性温存治療の実施件数及びカウンセリングの件数を新たに設定してはどうか。

○自身が所属する団体のワーキンググループにおいて取りまとめた、次期計画に対する要望内容を盛り込んでほしい。

 - ・患児の兄弟姉妹に対する支援
 - ・患児の付き添い家族に対する就労支援
 - ・費用の負担軽減のための助成制度（遠隔地での治療に要する交通費、アピアランスケアに係る費用）
 - ・小児がん拠点病院における院内学級（高等部）の設置
 - ・長期フォローアップとして、医療機関におけるオンライン診療体制の整備
 - ・二次がんや希少がんへの理解も含めたがん教育の実施 等

○ピアサポート等について

- ・AYA 世代の多種多様な課題・ニーズに対応するため、AYA 世代のピアサポーターの確保と育成、ピアサポート活動の継続を支援するような対策を検討すべき。
- ・AYA 世代の生活スタイルを踏まえ、相談支援やピアサポート活動について、オンラインで実施する体制（24 時間対応が望ましい）を整備すべき。

○対象年齢に達していない小児・AYA 世代がんサバイバーのがん検診について

- ・二次がんリスクの高い患者のがん検診については、一般のがん検診と同程度のコストで年齢差に関わらず受けられるようにすべき。
- ・その場合の対象者は、長期フォローアップ外来において主治医がガイドラインに基づき意見書を書いた人としてはどうか。そうすると長期フォローアップに通う意味も明確になる。

○若年がん患者の終末期の在宅療養支援について

- ・次期計画に文言を明記してほしい。
- ・実態を調査し、市町村間の格差是正につなげてほしい。

○がんによるひきこもりや付き添い家族に対する生活支援等にも言及してほしい。

○妊よう性温存について、情報提供だけでなく、患者とその家族がきちんと理解し、選択するための十分な説明と意思決定支援についてまで言及すべき。

○小児・AYA 世代のがん経験者の包括的な健康管理が重要。

○移行期医療の課題として、小児科医がいつまで診るのか、いかに内科医が参入できるかといった点がある。

○府民の適切な選択につながるよう、小児・AYA 世代がんの診療実績に関する情報公開を進めてほしい。

○保育園等で医療的ケア児に看護師の加配をつけられる時期が、市町村間で格差があるといった現状がある。次期計画でも保育園等における対策について触れてほしい。

○AYA 世代のがん患者の家族支援や、がんで親を亡くした遺児等の心理社会的ケアについて盛り込んでもらいたい。

○小児・AYA がんに関する府民への周知・啓発も必要。

(3) 大阪府小児がん拠点病院における指定要件の改定について

【意見要旨】

- 特になし